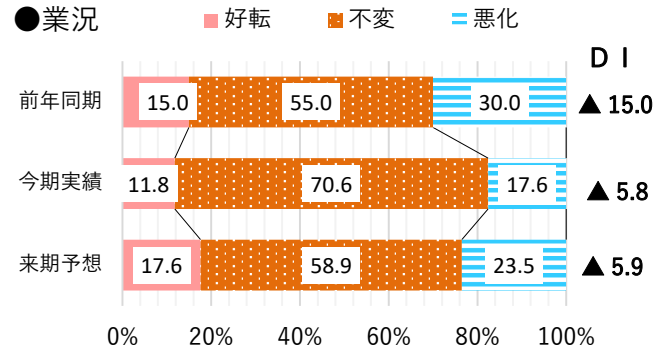


建設業

業況、売上、採算

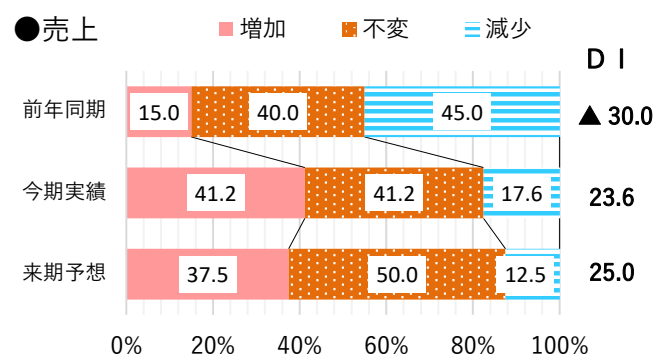
今期（2026.7～9）の業況DIは▲5.8で、前年同期（2025.7～9）と比べ9.2ポイント上昇しました。

来期（2026.10～12）の業況DIは▲5.9で、今期（2026.7～9）と比べ0.1ポイント低下すると予想しています。



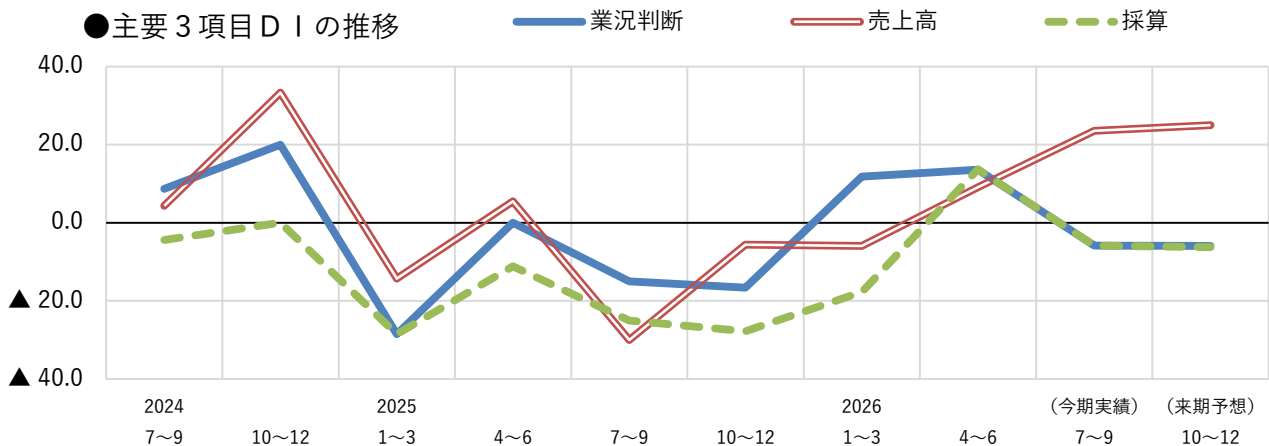
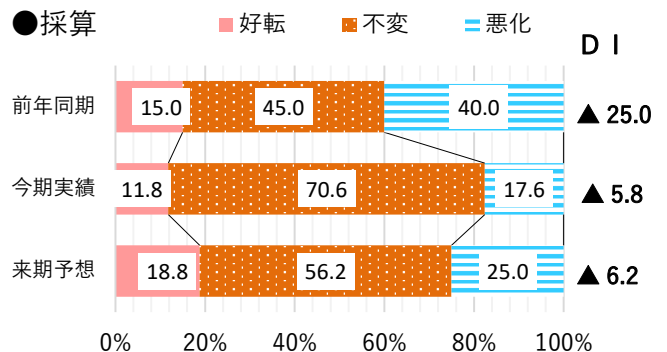
今期の売上DIは23.6で、前年同期と比べ53.6ポイントと大幅に上昇しました。

来期の売上DIは25.0で、今期と比べ1.4ポイント上昇すると予想しています。



今期の採算DIは▲5.8で、前年同期と比べ19.2ポイント上昇しました。

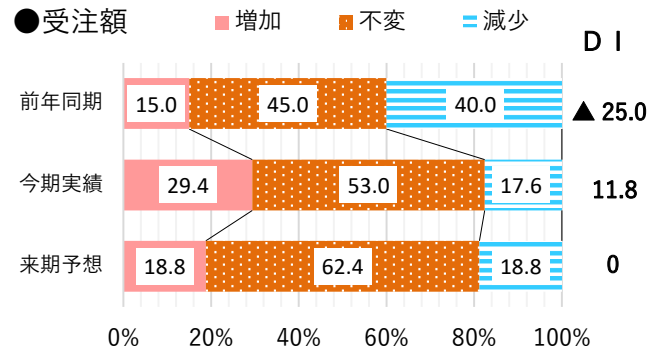
来期の採算DIは▲6.2で、今期と比べ0.4ポイント低下すると予想しています。



受注（新規契約工事）額、契約残（未消化工事高）、材料仕入単価

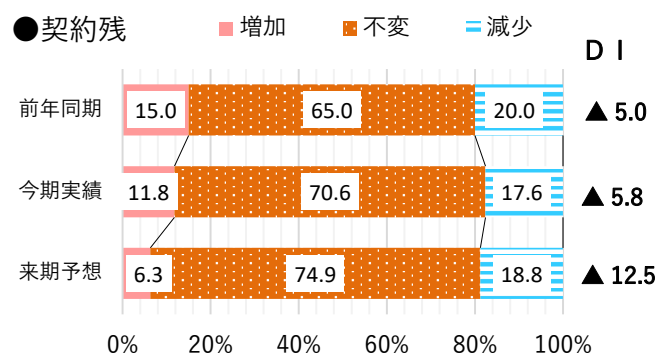
今期の受注額DIは11.8で、前年同期と比べ36.8ポイントと大幅に上昇しました。

来期の受注額DIは0で、今期と比べ11.8ポイント低下すると予想しています。



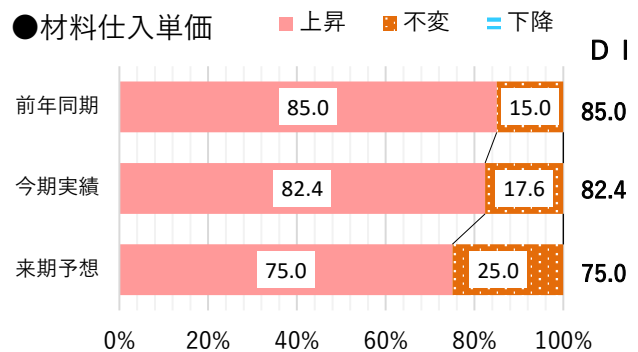
今期の契約残DIは▲5.8で、前年同期と比べ0.8ポイント低下しました。

来期の契約残DIは▲12.5で、今期と比べ6.7ポイント低下すると予想しています。



今期の材料仕入単価DIは82.4で、前年同期と比べ2.6ポイント低下しました。

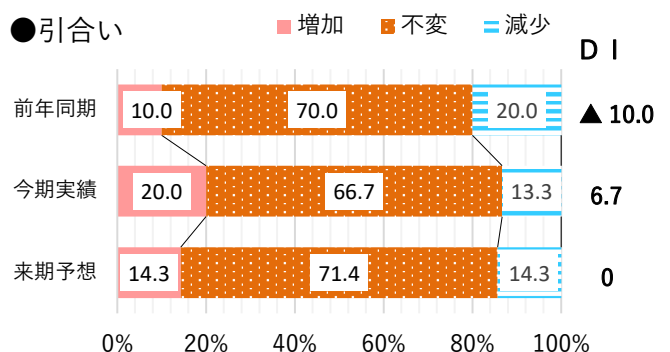
来期の材料仕入単価DIは75.0で、今期と比べ7.4ポイント低下すると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは6.7で、前年同期と比べ16.7ポイント上昇しました。

来期の引合いDIは0で、今期と比べ6.7ポイント低下すると予想しています。



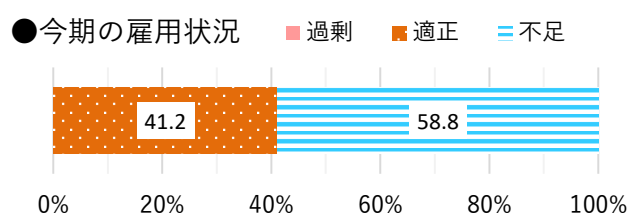
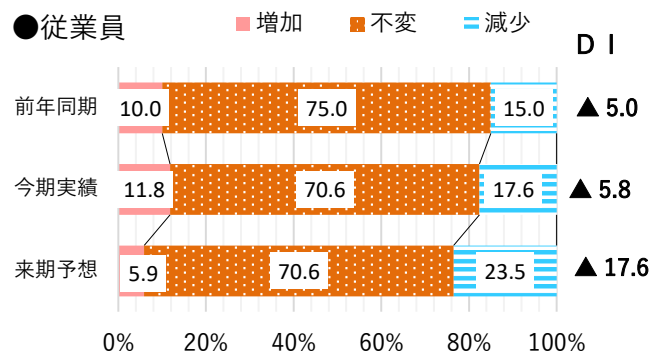
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲5.8で、前年同期と比べ0.8ポイント低下しました。

来期の従業員DIは▲17.6で、今期と比べ11.8ポイント低下すると予想しています。

今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は41.2%、不足していると回答した企業の割合は58.8%でした。

従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、41.2%を占めました。



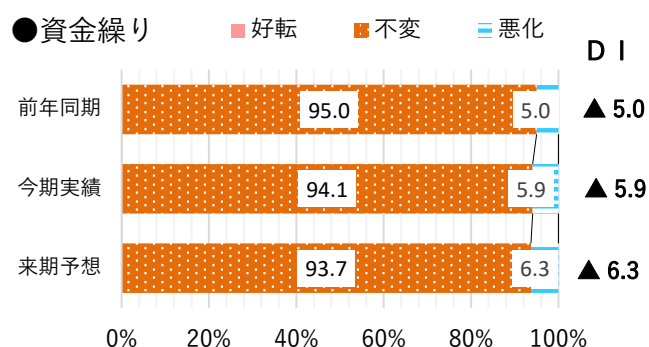
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	11.8%
不変だった	過剰	0%
	適正	41.2%
	不足	29.4%
減少した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	17.6%

※回答総数17社

資金繰り、設備投資

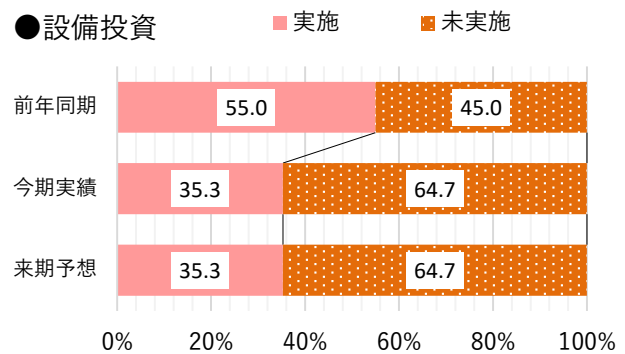
今期の資金繰りDIは▲5.9で、前年同期と比べ0.9ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは▲6.3で、今期と比べ0.4ポイント低下すると予想しています。



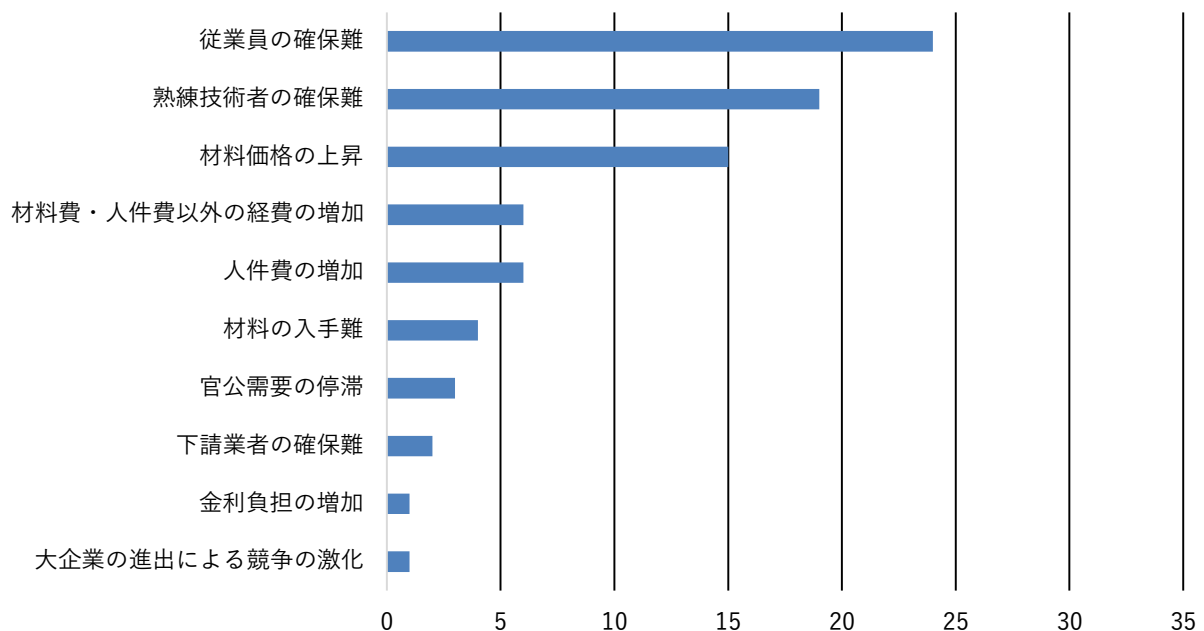
今期の設備投資は35.3%が実施と回答し、前年同期と比べ19.7%低下しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」「福利厚生」（同位）、2位が「建物」「建設機械」「OA機器」（同位）でした。

来期は35.3%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「熟練技術者の確保難」、3位が「材料価格の上昇」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 技術者の確保が課題である。（一般土木工事業）
- 人材確保が課題である。（一般土木工事業）
- 大きな変化はない。（造園業）
- 完成工事が前年より多く、売上が増加した。（一般管工事業）

[来期の業況について]

- 就職活動のピークを迎えるので一人でも多くの内定者を確保したい。（一般土木工事業）
- 売上等の好転は期待できない。（造園業）
- 年内の完成予定工事が多いため売上の増加を見込む。（一般管工事業）